

## 清水港でのシップウォッチング

2022.10.28 池田良穂

静岡・清水にある東海大学海洋学部のもつ練習船「望星丸」で、船舶活用災害医療の実証訓練のためのワークショップが行われて、そのアドバイザーとして参加し、初めて「望星丸」に乗船しました。船齢 29 年という船ですが、大事に使われており、大学関係者によると 50 才までは大丈夫という話でした。この船を、南海トラフ等の大災害発生時に医療船として使うことを想定した訓練を行うことになっており、そのためのワークショップでした。

この機会に久しぶりに清水港を訪れることができ、伊豆半島の土肥港とを結ぶカーフェリー「富士」、折戸湾内航路を結ぶ「ケイ・エス」と「フェルケル」、そして数隻のデイクルーズ客船に再開することができました。地球深部探査船「ちきゅう」をはじめとして、コンテナ船や RORO 貨物船などの姿も見ることができました。



東海大学の海洋調査研修船「望星丸」。総トン数 1777 トン、乗船定員は 190 名。



清水～土肥間を結ぶカーフェリー「富士」。



鈴与グループの所有帆船「ドーン・トレッター」です。



富士山清水みなとクルーズの遊覧船「ベイプロムナード」。



チャーター帆船「オーシャン・プリンセス」です。



清水港水上バスの連絡船「ケイ・エス」(上)と「フェルケル」。



巨大な櫓が聳え立つ「ちきゅう」が停泊していました。